

社会人のための情報システム誌  
— 経営近代化のシステム研究 —

# Computer Report 9

2013 No.708

## 3 はじめの言葉

### 4 続 なぜ日本は情報戦に疎いのか

どこを見直すべきか

田原文夫

伝統的な企業情報システムの展開も、当初は企業活動実態をより正確／適確に把握し、その実状のどこを、どのように改善／革新していくべきかを目指すものだったはずである。しかし、いつしか日常業務の事務処理や手続き処理でのコンピュータ活用に終始するレベルに陥ってしまった。結果、本来の事業内容の見直し／改善／革新を目指すという基本目的を見失ってきたようである。この本来的な方針を達成するには企業の実態把握、自社の置かれている社会的位置の確認など、そのための様々な情報収集も必要なのだが、それも、疎かになってきていると言えるだろう。こういう本来の情報処理行動を見失ってきたことが、昨今における情報システム部門の社会的地位格下げの原因になっているとも言えよう。企業等組織内の情報システムリソースの単なる調達発注部門に成り下がっているという指摘の背景と言える。少なくとも、本来の情報システム部門の基本ミッションを再確認し、本来の位置付けの回復を果たすためにも、失われた（もし、失われていると実感するならば）情報処理能力を取り戻して欲しいものである。

### 1 1 情報社会を考える その36

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

アメリカ政府が見せた SNS サービスの闇  
情報収集大国アメリカの要望

日本の国民は「一度ぐらいは政権交代があってもいいのではないかと3年前に野党への政権交代を選択したが、その政権担当能力および結果に呆れ果てて、再度自民／公明の連立政権への復帰を選択した。第一党だった民主党は、いまや第三党の位置にある。実態感覚からすると、四党以下にも思える。

一方、前政権のあまりの不甲斐なさに「負の選択政権」だと現政権を揶揄する指摘もあるが、国会の議席獲得では圧倒的な勢力を保有している。この勢いに乗じて、アベノミクスといわれる大規模な財政／金融政策にもとづいた来年度予算案も、総額で99兆円強という、史上空前の規模にまでふくれ上がっている。

一方、直近の世界情勢としては、世界中から情報収集をしている「情報収集大国アメリカ」が主張するシリア情勢を巡る国連安保理での軍事介入の議論が注目されている。圧倒的な情報収集を背景にしたアメリカの提案であることから、各国の動きが注目される中、積極的姿勢を見せていたイギリスは自国の国会の承認を得ることができなかった。

### 1 3 日本再生／世界競争力回復のカギ

何故 M-BIM 構築が必要か その 31

水田 浩

まちづくりの BIM:コンパクトシティ

町づくり仕様標準条例 (Form-Based Codes、FBC)

FBC の作り方

コミュニティの評価を助けるための従来と異なる FBC のゾーニングを次の 3 ステップで実現する。

ステップ 1 コミュニティの考える地域を定義する。

ステップ 2 その地域に関する既存の条件を評価する

ステップ 3 コミュニティのビジョン、実現のための仕様標準条例、FBC 実施手順を作成する。

「ステップ 1 コミュニティの考える地域を定義する」は、先月 8 月号で紹介したので、今月は、「ステップ 2 地域の既存の条件を評価する」について述べてみたい。

### 1 9 連載 アーキテクチャ論 (29)

高保証アーキテクチャ開発法

山本修一郎

前回は我々が提案している Open Dependability Through Assuredness (O-DA) 標準の概要を紹介した。本連載では、TOGAF について連載 7 回と 8 回で説明している。今回は TOGAF V9.1 に基づく高保証アーキテクチャ開発手法 (Assured Architecture Development Method) について、保証ケース (Assurance case) との関係と課題について述べる。

### 2 8 国家レベルのセキュリティ論とそれに呼応する対応策(4)

aism

「日本版 NSC (国家安全保障会議)」設置の動きに続き、日本政府は「特定秘密保全法案」を今秋、国会提出することを決めたようだ。国家レベルのセキュリティ対策が求められている昨今である。何もしていないよりも良いに決まっている。しかし、クラウドコンピューティング、ソーシャルネットワークサービス (SNS) など、システムリソースがほぼ完全にアメリカ勢に掌握されてしまっていることのセキュリティリスクの存在も忘れてはならない。個人と言えども、インターネットサービスを活用した時点で社会的ネットワーク存在となる。そこから国家としてのセキュリティリスクにも直結してしまう脅威も出てくる。目先の取材の自由論、安直な国民の知る権利論の展開よりも先にしなくてはならないものがある。

### 3 1 ものの造れる日本再生に向けて 最終回

第二／第三の創業へ

Dr.ベスト

1970 年代のオイルショック後の 1980 年代は「激動の時代」と予測されたが、実は、「ジャパンアズ No1=No1 としてのニッポン」という、今にして思えば黄金期だった。その黄金の夢が一気に醒めたのが、1991 年のバブル崩壊という悪夢からの出発だった。そしてそれは、さらに厳しい姿勢で日本全体の産業界のリストラクチャリングに挑戦する時代の

幕開きだった。まさに温故知新である。新興国にはない一企業の枠を超えたリストラクチャリングの歴史をひもといてみよう。鉄鋼、造船、エンジニアリング、自動車、電気・電子業界の動向を追いながら、これからの日本再生に向けて踏み込んだ展望をしてみたい。

### 3 5 IT 新時代とパラダイム・シフト

#### 第47回 今話題のプロジェクトマッピング

クールジャパンの新しい柱に

根本忠明

今、全国各地でプロジェクトマッピングが大流行である。このような大きな注目を集めようになったのは、昨年の東京駅修復での祝賀イベントによる。このプロジェクトマッピングには、地域の街興しとして期待されるが、問題も少なくない。行政の見えない規制が立ちだかっている。観光立国を目指している日本としては、規制の撤廃だけでなく、クールジャパンの新しい柱として世界にアピールし、全国各地の町興しに貢献できる支援体制の確立が求められている。

### 3 9 続インテリジェンスへのいざない 44

雇用機会を回復するために必要とされるインテリジェンス

今井 武

本当に国民の雇用機会を増やすことに通じるかどうか。企業が事業環境をリストラクチャリング(再編成)することは当たり前として、リストラがいつしか本来の意味ではなく、人員整理を意味する言葉として多用されるようになった。現政権が売りにしているアベノミクス策は果たして日本国民の雇用機会の確保にどれだけ貢献してくれるのだろうか。

### 4 2 一味違うウェブ検索

第三十八話 「事典・辞書などの使い方」シリーズ

④スマホの話題を事典・辞書で探す

ぐうのうえぶへい

みなさん、今、スマホ関連の用語がどの程度あるか、思い出せる用語をチェックして欲しい。絶えず新しい話題を追い求めなければならないマスコミ・レポーターにとって、スマホの新しい話題を探すのは大変である。調べてみるとスマホ関連用語は数多いが、うまいキーワード探しは容易ではない。残念ながら、機械的に簡単・便利に見つけるうまい方法は、見あたらない。事典・辞書を使ってキーワードを探す方法を軸に、いろいろな探索方法について紹介したい。

### 4 4 連載 四字熟語カトレーニング

すぎやまちヒロ

## セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における  
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで  
株式会社 日本経営科学研究所  
ComputerReport編集部

[cr-info@jmsi.co.jp](mailto:cr-info@jmsi.co.jp)

# CR 選書のご案内

**CR選書**

**改訂版**  
**データ・ウェアハウス**

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300)  
A5版 289頁

石井 義興 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネストド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**実践データ・ウェアハウス**  
**OLAP**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)  
A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構築
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**消費者行動論**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)  
A4版 181頁

田原文夫 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

aism 研究活動報告  
**インターネットセキュリティの**  
**落とし穴**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)  
A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修  
aism情報セキュリティ・マシントリプル研究会 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除記
第二章 aism情報セキュリティマシントリプル研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 匿名化された電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット運用のための情報オーナーの課題
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛戦線心得
第五章 aismの2002年度の事業計画	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報セキュリティ対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2003年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

エンタープライズ情報システム設計の基本書！  
**トップ主導の**  
**情報システム革新**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)  
A4版 271頁

高田 顯重 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**計量モデルの構造と解法**  
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)  
A4版 213頁

安田 聖 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**『いざ！というときの(得)広報』**  
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300)  
A5版 228頁

加藤 洋一 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売れない企業体質
■ ニュースリリースは東方向運賃	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**ザ・ワールドリンク**  
がんばれ、国際グローバルサーバー—  
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300)  
A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 発端	第十一章 日本開港手続の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米商チーム崩壊の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たな仲間
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米商事務所移転と新たな組み
第五章 FJO、IBM競争	第十五章 開港手続とハンタツ
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番後日誌
第八章 米商チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 稼働中の一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米商チーム、異なる三人組	第二十章 稼働中の二 安産後編と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)